

# 持続可能な文明を求めて

## — エコロジカルな良心の実践 —

● 日時：2017年 1 月 28 日（土）13:00 — 15:00

● 場所：同志社大学 今出川キャンパス

同志社礼拝堂

● 講演：「統合的なエコロジーとエコロジカルな文明」

ジョン・カブ（John B. Cobb, Jr.）

（クレアモント神学校 名誉教授）

司会：和田喜彦（同志社大学 経済学部 教授）

挨拶：新関三希代（同志社大学 経済学部 教授、学部長）

コメンテーター：

小原克博（同志社大学 神学部 教授、良心学研究センター長）

林田 明（同志社大学 理工学部 教授）

■協賛：日本ホワイトヘッド・プロセス学会

■ 問い合わせ 同志社大学 良心学研究センター

CONSCIENCE

E-mail：rc-csc@mail.doshisha.ac.jp    <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>

良心を世界に—良心を覚醒させる知の連携と知の実践 良心学研究センターは、現代世界における「良心」を考察し、その応用可能性・実践可能性を探求することを通じて、学際的な研究領域として「良心学」を構築し、さらにその成果を国内外に発信し、新たな学術コミュニティを形成することを目的としています。

## 【講師略歴：ジョン・B・カブ (John B. Cobb, Jr.)】

クレアモント大学院大学名誉教授；プロセス研究所共同所長（米国カリフォルニア州クレアモント市） 神学者、哲学者、環境倫理学者、環境学者

ジョン・B・カブ博士は1925年、メソジスト派宣教師の息子として神戸で生を受けました。15歳まで神戸と広島などで教育を受けました。1940年にアメリカに移り、高校卒業後は、エモリー大学で学び、1943年にアメリカ陸軍入隊。戦後、シカゴ大学の学際プログラム、および神学部で学ばれました（1952年博士号 Ph.D.取得）。そこで、プロセス哲学とプロセス神学と出会い、彼の生き方を決定づけることとなりました。

カブ博士は、異なる宗教の間の壁や、神学・哲学・倫理学・宗教と、生態学、生物学、経済学などといった自然科学/社会科学の間に存在する壁を取りはらい、相互の対話と相互理解を通して、敬意をもって学び合うことで、公害・環境問題、戦争、貧困・格差拡大、生活の質の劣化、少数者の差別と人権侵害など現代世界の病巣の根本的解決を目指そうとされています。

現代の学問や宗教は自分だけの狭い「専門領域」に入り込んで思索している。「専門領域」内の細かな事象の分析はできるが「全体構造」が見えない宗教家や研究者が主流を占めている現状こそが、宗教と学問（そして文明）の危機である。それぞれの宗教・哲学や諸科学がお互い自由に行き来してそれぞれの世界認識や研究成果を学び合い統合させることが本来の University 大学の役割である。そのような姿勢こそが公正で生態学的にも持続的で平和な世界を構築する礎であると主張されています。

博士の目指す持続可能な世界の範囲は、人間社会だけに限らず、地球上の生きとし生けるものの、生態系・動植物全体にまで広がっています。なぜなら人間も地球生態系の一部であり、人間の経済システムは生態系に根源的に依存している存在だと認識しておられるからです。

数多くの業績の中でも、エコロジー経済学者の重鎮であるハーマン・E・デーリィとの以下の共著は、本日のテーマとの関連で重要です。*For the Common Good : Redirecting the Economy Toward Community, the Environment, and a Sustainable Future.* (Boston, MA: Beacon Press 1989, 1994) (『公共善をめざして：コミュニティー・環境を護り・持続可能な未来を構築するために経済の仕組みを転換する』) という著作です。本書では世界の経済格差や環境問題の構造を分析し、それを克服する道を探求し、宗教・学問の役割を考察されました。地域コミュニティーの重要性を指摘し、過度な貿易の自由化・グローバル化への反対という点で、西欧の宗教界を代表する学者です。

近年は、生態系と共存できる文明「生態系文明」構築の運動を世界に普及させるために積極的に活動されています。2015年6月には、*Seizing an Alternative : Toward an Ecological Civilization* (「オールタナティブを実現せよ：生態系文明の構築に向けて」と題する国際シンポジウムを主催され、世界中から2,000人を超える環境問題研究者や市民、運動家が集まり、成功裏の内に閉幕しています。

海外においては、特に中国での影響は大きいものがあります。プロセス哲学研究を行う研究機関は世界に30数箇所存在しますが、その内、中国に23施設が集中しています。カブ博士

の弟子たちの働きを通し、習近平国家主席を筆頭とする中国共産党指導部をして「生態系文明」構築に向けて舵を切るという政策転換に大きな影響を及ぼしました。

カブ博士の前回の来日は 2002 年 5 月のこと。第十回国際哲学オリンピック(於国連大学)に講師として参加。その他、立正佼成会でキリスト教の説教、龍谷大学で宗教間対話の講演、京都市内の関西セミナーハウスで文明論の講演、新潟の敬和学園大学や札幌大学で講演。またアイヌ民族で最初の国会議員になった萱野茂氏との対談も行われました。今回は、15 年ぶりの来日です。

#### <主な著作>

Cobb, John B. Jr. *A Christian Natural Theology, Based on the Thought of Alfred North Whitehead*. (Philadelphia, PA: Westminster Press, 1965) (邦題『キリスト教的自然神学』新教出版,1978.)

Cobb, John B. Jr. *Beyond Dialogue: Toward a Mutual Transformation of Christianity and Buddhism*. (Philadelphia, PA: Fortress, 1982) (邦題,『対話を超えて』延原時行訳,行路社, 1985.)

Cobb, John B. Jr. *Is It Too Late a Theology of Ecology* (Denton, TX: Environmental Ethics Book 1972, Revised: 1994) ((邦題『今からではもう遅すぎるか?—環境問題とキリスト教』郷義孝訳, ヨルダン社, 1999.)

Daly, Herman, and John B. Cobb, Jr. *For the Common Good : Redirecting the Economy Toward Community, the Environment, and a Sustainable Future*. (Boston, MA: Beacon Press 1989, Revised and Expanded 1994)

*Matters of Life and Death*. (Westminster, UK: John Knox Press, 1991) (邦題 :『生きる権利 死ぬ権利』延原時行訳, 日本キリスト教団出版局, 2000).

Cobb, John B. Jr. *The Earthist Challenge to Economism: A Theological Critique of the World Bank*. (Basingstoke, UK: Palgrave Macmillan,1999).

Cobb, John B. Jr. and Ignacio Castuera, eds. *For Our Common Home: Process- Relational Responses to Laudato Si'*. Claremont, CA: Process Century Press, 2015. 他多数。

文責 : 和田喜彦 (同志社大学経済学部)

良心学研究センターが主催した過去のシンポジウムの配付資料や動画は、すべてウェブサイト (<http://ryoshin.doshisha.ac.jp>) や YouTube で公開されています。ぜひ、ご覧ください。  
新年度の予定については、決まり次第、ウェブサイトに掲載します。